

令和6年度 信学会栗田こども園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

豊かな体験や遊び、さまざまな人との関わりを通して、自分で考え行動する子どもを育てる。

2. 本年度の重点目標

子どもたちが環境を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、大けがを防ぐ体幹を作る。

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

| 項目 | 自己評価内容 | 評価 |
|--------------|--|----|
| 教育課程・指導 | ・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。 | A |
| | ・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。 | B |
| 保健管理 | ・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。 | A |
| 安全管理 | ・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。 | A |
| 組織運営 | ・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。 | A |
| | ・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。 | A |
| 研修（資質向上への取組） | ・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。 | A |
| | ・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。 | A |
| 教育目標・園評価 | ・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。 | B |
| | ・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。 | A |
| | ・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。 | A |
| 情報提供 | ・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。 | A |
| | ・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。 | A |
| 保護者・地域住民との連携 | ・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。 | B |
| 子育て支援・預かり保育 | ・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。 | B |
| | ・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。 | A |
| 教育整備環境 | ・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。 | A |

4. 保護者アンケートなどからの評価

- ・子ども主体の保育で、子どもの興味を伸ばしてくれる。
- ・担任以外の先生も、子どもの様子をよく見て、教えてくれる。
- ・環境が子どもに合っている。
- ・子どもが楽しそうに通っている。
- ・季節の行事体験が有難い。家でできない遊びや経験ができる。
- ・園全体で見守ってくれる雰囲気がある。安心できる園である。
- ・クラスの様子を毎日、写真（ドキュメンテーション）で見れて楽しみである。
- ・園生活に安心感がある。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・今年度も、職員が積極的に園内外の研修に参加するように努め、保育の質の向上を図った。チームで保育する大切さをより学び、クラスの子もだけでなく園の子どもたちを全員で保育していくことで、職員が積極的にマネジメントにもかかわる姿も見られた。
- ・来年度は、地域とも連携した保育を目指し、地域の子どもの育ちについても考えていきたい。